



伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 藤澤洋二 幹事 小松献臣 会報委員長 城取健太 第2912回例会 2020.9.24 No.1572



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 RI テーマ

Rotary Opens Opportunities

ソング それでこそロータリー

ビジター・ゲスト紹介

認定NPO 法人フリーキッズ・ヴィレッジ

理事長 宇津孝子様

おやまのおうち事業担当 筒井淳文様

会長談話 藤澤洋二会長

9月10日、ガバナー公式訪問があり、例会の前に、成田ガバナー・山田ガバナー補佐による会長幹事懇談会がありました。その中で、成田ガバナーより、ある本を教え



ていただきました。会員の皆さんにご紹介いたします。

その本は、ロータリー第2600地区が1997年に発行した「10年の歩み」という本であります。1987年7月に、それまで愛知県・長野二つの県を地域とする旧第260地区であったのが、愛知県を地域とする新第276地区と、長野県を地域とする新第260地区に分割されました。その後、第260地区は1991年より、地区番号が4桁になり、第2600地区となりました。

新第260地区（現在の第2600地区）が誕生して10年が経過したことを記念して、1997年6月に発行されました。

その本のクラブ紹介のパートの中から、伊那クラブの紹介を教えてくださいました。そのページのコピーをお手元にお配りしてあります。後でごゆっくりご覧ください。簡単にご紹介します。

諏訪クラブのメンバーが、なぜ伊那に来てロータリークラブをつくってほしいとお願いしたのか、また、ロータリーはこうあってほしいということについて、記載されています。

- ・ロータリーは人間社会にとって不可欠な心の塩なのではないか
- ・こんないいもの（ロータリー）を俺達だけでもらっ

ていたんじゃないいけない、どこかお返しをしなければいけない

・メンバー同士で腹を割って話せるようなメンバーでなければクラブに入った意味はない、友情が大事だ伊那クラブ誕生の時の親クラブ、諏訪RCの皆さんの意気込みや、この記念誌の発行当時の伊那クラブの先輩の思いが感じられ、当時の先輩方にロータリーとは何かについてご指導頂いたような気がします。

また、心を新たにして、ロータリー活動に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

幹事報告

1. 地区事務所より、会長エレクト・次期幹事研修セミナー（PETS I）の開催についてご連絡。

日時：2020年10月18日（日）13：30～16：30

開催形式：ZOOMを使用したオンライン研修セミナー

2. 第7回日台ロータリー親善会議福岡大会実行委員会より、2021年度3月開催に延期しました福岡大会について中止のご連絡が参りました。

【10月のプログラム】（経済と地域社会の発展月間）

1日（木）4日（日）～振替

4日（日）地区大会

8日（木）指名委員委嘱、会員卓話（塚越寛会員）

15日（木）職場例会 → **休会（特別休会）に変更**

22日（木）クラブフォーラム（担当：職業・社会奉仕委員会 伊那弥生ヶ丘高校進路担当教諭の卓話を予定）※13：35 理事会

29日（木）休会（特別休会）

☆お知らせ

- ・入会希望者のご紹介
中部電力パワーグリッド(株) 伊那営業所長 熊谷吏朗（くまがい しろ）様
- ・第61年度2期分会費55,000円、周年事業準備積立金2,000円、ポリオプラス寄付金3,500円、平和セ

ンター寄付金 500 円及びロータリー財団寄付金 2,500 円（年間一万円寄付、分割払いの方）を10月12日銀行口座より引き落としさせていただきますので宜しくお願い致します。

委員会報告 「伊那ロータリー杯」開催報告

小林孝行青少年奉仕委員長

9月21日、22日の2日間に亘り伊那ロータリー杯を開催する事が出来ました。皆様のご協力ありがとうございました。



出席報告 会員数55名 内出席免除16名 長欠0名 出席者41名 事前メーカーキャップ0名 出席率80.39%

ニコニコボックス

藤澤洋二、小松献臣 宇津孝子様、筒井淳文様 本日は卓話を宜しくお願い致します。

藤澤洋二・小松献臣 9/21、22 日青少年奉仕委員会担当の伊那ロータリー杯上伊那中学新人野球大会が多数の会員にご参加いただき天候に恵まれ、熱戦が繰り広げられ無事終了致しました。小林孝行 先日のロータリー杯多くの参加を頂きありがとうございました。また、箕輪中で孫が参加しましたが残念ながら3位でした。優勝でもしたら大きくの予定でしたが、小さく小さくになります。

清水紀光 先週御嶽山に登って来ました。噴火で亡くなられた信金さんに勤めていた高木さんのご家族とお寺の住職さんらと一緒に登り頂上で七回忌の法要に立ち会って来ました。9月27日で6年になります。

在籍祝 宮下 裕

ゴルフ部 9月コンペ上位入賞者 優勝 橋爪利行 準優勝 中曽根隆文 1位 小坂樫男 2位 増田 清 3位 塚越 寛

クラブフォーラム 基本的教育と識字率向上月間

卓話 認定NPO法人フリーキッズ・ヴィレッジ 理事長 宇津孝子様 筒井淳文様

演題「コロナ禍における地域の子ども支援」

（紹介者 小林孝行青少年奉仕委員長）

フリーキッズ・ヴィレッジは高遠町山室で、親と暮らせない子供のために養育里親・専門里親をし、自給自足をしながら大家族生活をしています。子供の自立後はいつでも帰れる「実家」となっています。

宮下金俊会長年度の第36回伊那ロータリー顕彰で顕彰をいたしました。（2015年2月）

その翌年度の小坂樫男会長年度に地区青少年育成基金助成に申請し、フリーキッズ・ヴィレッジ施設内に木製遊具を作製し設置する事業を行いました。シーソー、丸太渡り、滑り台を作成しました。

本日は新しい事業と活動の現状をお話しさせていただきます。



現代社会では、地域を含めた子育ての力“養育力”が低下しております。子育ては、地域や親類関係などの社会的ネットワークの中で行われてきました。この養育力が希薄になってしまった現代の子育て社会、必要なのは、つながり孤立しないネットワークです。

事実、核家族世帯が多い現在、親・親族が近くに居なかったり、近所とも付き合いが希薄だったり、本当は頼りになるはずの児童相談所・市町村の子供相談室等をどう申請して、どうやって利用していいかも分からず、子育てが孤育てになってしまい、子育てに困難をかかえる家庭が確かに存在しております。認定NPO法人フリーキッズ・ヴィレッジでは、そんな家庭の為のファミリーサポート事業を行います。

具体的な事業と致しましては、①フードバンク（宅食）・②居場所づくり・③地域の子供たちの為のフリースクール④伊那市在宅における養育支援事業（虐待予防事業）この4つの事業がフリーキッズの子育て支援活動です。

新聞でも取り上げられましたが、虐待や育児疲れなど子育てに困難を抱える家庭の子や親を協力家庭が受け入れてレスパイトケア（一時休息）を行うことにより、子供の虐待の予防・深刻化を食い止めることにつながると期待されております。伊那市は2020年認定NPO法人フリーキッズ・ヴィレッジに委託してファミリーサポートを事業化しております。

現在、居場所づくり事業の中で「おやまのおうち」2020年4月にプレオープン致しました。こどもも大人も自然の中で「生きる力」を取り戻し・育んでいくみんなのおうちです。この「おやまのおうち」を創作していくために、



どうか伊那ロータリークラブの皆様のご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。

